

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	社会福祉法人 更生慈仁会コスモス		公表日		2026年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	活動内容に応じて、エリア分けをしている。	十分に活動できるスペースを確保し、環境を整えていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		各職員の役割を明確にして、効率よく業務が出来るようにしている。	配置人数で、業務が滞りなく実施できるようにしていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	落ち着いて過ごせるように、環境を整えている。	必要時には、臨機応変に対応していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	可能な限り対応している。	利用者の状況に合わせ、臨機応変に対応していく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		6	無回答1 個別部屋はないが、状況に応じて個別に対応できるよう空間づくりに配慮している。	状況に応じてエリア分けをしていく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	3	業務に追われている感覚が強く、到達出来ない状況と言える。	PDCAサイクルの理解と周知に努め、振り返りをしながら実施していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	評価内容を情報共有している。	今後も以降に沿う支援を継続していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		可能な限り改善できるように検討している。	日々振り返りをし、改善に努めていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	実際どのように行われているのか、不明な点がある。	情報共有をし、問題点については迅速に対応していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		可能な限り研修に参加している。	積極的に参加をし、情報共有しながらスキルアップを図っていく。
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		作成、公表している。	改善点がないかなど、日々目を向けていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		利用者やご家族の意向を踏まえ作成している。	職員間の理解や周知を含め、継続していく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		作成時には、会議を行い情報共有している。	個別支援会議などを行い、継続していく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	3	情報共有するように、声掛けを行っている。	支援計画作成後など、職員間で回覧し情報共有するようにしていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	無回答1 そこまで至っていない現状。	日々研鑽できるように取り組みをしていく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		5領域を含む支援計画書を作成し、支援を行っている。	職員間で情報共有をし、より良い支援が出来るようにしていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2	職員間で意見を出し合い、情報共有している。	さらにより良い支援に繋がるように研鑽していく。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		固定していると感じる時もあるが、職員間で意見を出し合いながら行っている。	例えば創作や音楽活動など、大きな括りは同じだが実際の取り組みで工夫をし、目的を持ったプログラムを立案していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		その状況に見合った計画になるようにしている。	今後も継続していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		何をするのか、携わる職員間で情報共有している。	今後も継続して、様々な意見を取り入れて支援を行っていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		一日の終わりに集会を設け、意見を出し合っている。	今後も継続していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		職員間で情報共有している。	職員間で情報共有して、意見を出し合いより良い支援が出来るようにしていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		実施している。	職員間でも情報交換が出来るようにしていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		無回答1 実施している。	職員間でも情報共有し、見直しや検討を重ねていく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	自己選択の支援は難しいが、わかりやすく説明したり、2択で選択しやすくしている。	利用者の特性を熟知し活かせるように、職員間でも情報共有していく。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		情報収集を行い、職員間でも共有している。	常に新しい情報を取り入れ、対応するようにしていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		無回答1 保険、医療はご家族と情報共有している。他関係機関との連携は機会があまりない。	可能な限り行っていくようにする。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		送迎時に、学校とも情報共有している。	情報共有出来るように、関係づくりにも配慮していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	無回答2 機会があれば積極的に取り組むようにしている。	対象者があれば積極的に取り組むようにしていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		積極的に担当者会議に参加をしている。	会議などに積極的に参加をして情報共有していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	4	機会があまりない。	機会があれば積極的に取り組みをしていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	機会があまりない。	機会があれば積極的に参加していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3	無回答2 可能な限り参加している。	機会があれば積極的に参加をしていく。参加後は、職員間で情報共有していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		ご家族や学校などと積極的に連携を図るようにしている。	意識して積極的に参加をしていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	無回答2 時間調整が難しく、実施には至っていない。	積極的にそのような機会を設けていくように検討する。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		時間調整が難しく、実施しているが不十分だと感じる。	丁寧に説明する機会を設けていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		無回答1 全ての意向迄には至っていないが、できる限り行っている。	今後も継続していく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		送迎時や連絡帳を通して行っている。	今後も時間調整や声掛けをしながら行っていく。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	2	無回答1 そのような機会はあまりない。信頼関係を構築し、話しやすい環境を作れるように努めている。	意向があれば積極的に行っていく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	2	法人内の行事などの機会に設けるようにしている。	今後も継続していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		迅速に対応している。	今後も継続していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		連絡帳や送迎時に情報共有、月1回ブログを更新し情報発信をしている。	今後も継続していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		留意している。	今後も継続していく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		留意している。	今後も継続していく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2	そのような機会は無い。	外気浴や外出の機会を設け、積極的に外部とのふれあいが出来るようにしていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	マニュアル作成している。職員間で読み合わせや、避難訓練の際に、行動確認している。	ご家族にも情報発信していく。あらゆる場面を想定した訓練を行っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		BCPの理解が出来るように勉強会を行っている。	BCPの熟知が必要の為、何回も読み合わせをし理解を深めていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		無回答1 職員間で確認をし状況の把握は行っている。	職員間で、常に情報共有していく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	ご家族からの情報に基づいて食事提供している。	食札にも記載しているが、食事内容の確認も行う。職員間の情報共有していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画を見やすい場所に掲示している。	職員が熟知できるように勤めていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	無回答1 周知されているのか分からない。	ご家族との情報共有をしていくとともに、職員との情報共有も図っていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	ヒヤリハットの案件があまりない。その時々で迅速に対応している。	小さなことでも情報共有していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		研修参加、職員間で情報共有している。法人内での虐待フローシートが掲示されていて、すぐに確認できるようになっている。	話しやすい環境作りを目指している。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		無回答1 実施している。必要時は、意思からの意見書をいただいている。	モニタリングを行い必要性の有無を検討しながら、今後も継続していく。	